

大規模津波防災総合訓練

【訓練の目的】

スマトラ島沖地震に伴う津波災害を踏まえ、津波による被害の軽減を目指して、今世紀前半にも高い確率で発生するとされる東南海・南海地震による津波を想定した大規模津波防災総合訓練を行います。住民の迅速な避難、的確な情報の収集・伝達、被災者の救助・救急、応急復旧、緊急物資の輸送などの訓練を沿岸地域住民と防災関係団体、関係機関が連携して行います。

9:00

訓練第1部 (津波警報発令中の訓練)

津波情報伝達訓練 9:00~9:45

- ・気象庁が発表する津波警報等を防災関係機関や県及び市町村を通じて、住民に情報伝達する訓練
- ・気象庁からの津波警報に基づき、ヘリコプター、巡視船艇などにより、在泊船舶、海浜残留者に対して情報伝達する訓練

住民の避難訓練 9:00~9:43

- ・小松島市等の沿岸市町村の住民の方々が指定の避難場所へ避難

水門・陸閘の閉鎖訓練 9:05~9:20

- ・津波警報を受けて、水門、陸閘を閉鎖する訓練

津波情報提供訓練 9:06~9:20

- ・河川、道路、港湾利用者に対して、情報表示板を使って津波情報を提供する訓練

被災情報収集訓練 9:01~9:45

- ・ヘリコプター(画像伝送システム)を使用して、広域的な被害状況を情報収集及び共有する訓練
- ・河川、道路、港湾等に設置されているCCTVカメラを活用した被害情報の収集訓練

情報収集・集約訓練 9:10~9:40

- ・災害の初動時における情報収集のため、関係機関が集合する情報集約拠点を設定し、情報の収集、集約の訓練を行う。



近隣の地方整備局等との連携

- ・各地で実施している避難訓練の映像を訓練会場へ伝達
- ・ヘリコプターによる被災情報収集の支援
- ・災害対策車等の応援出動

9:50

開会式

挨拶

挨拶：国土交通大臣・徳島県知事・小松島市長

10:00

訓練第2部 (津波警報解除後の訓練)

被災者の救助・救急訓練 10:00~11:00

- ・海上漂流者のヘリコプター(吊り上げ)、巡視船(揚収)などによる救助訓練
- ・巡視船の洋上救護所でDMATによるトリアージ、応急救護を行い、判定結果によって病院へ搬送する訓練
- ・車輦に閉じこめられた被災者の救出訓練及び転覆船内の被災者の救出訓練
- ・トリアージ Tent を設置し、救出者のトリアージ、応急救護を行い、判定結果によって病院へ搬送する訓練、並びに救護所を設置し、被災者の救護訓練
- ・放置車輦、土砂、瓦礫などにより閉鎖された道路を啓開する訓練
- ・地震、津波による孤立地域の被災者をヘリコプターで救助し、搬送する訓練

被災情報の収集、施設被災状況点検訓練 10:10~11:50

- ・ヘリコプター、衛星通信車及び情報コンセントなどによる情報収集訓練
- ・パトロールカーなどによる河川、道路、港湾施設等の被災状況調査、施設点検訓練



トリアージタグ



サテライト会場

- 徳島県・吉野川河口部 橋門の閉鎖訓練及び巡視船による漂流者の救出の訓練
- 高知県・高知新港 港湾施設の被害状況調査及び瓦礫除去等の港湾陸上部での啓開の訓練
- 愛媛県・南予地区の国道 道路の点検、巡視を道路パトロールにより実施する訓練

11:00



10:10~11:50

火災消火訓練 10:40~11:15

- ・住民及び大学生が参加したバケツリレーによる消火訓練
- ・軽可搬ポンプ、消防ポンプ車による消火訓練

港湾の啓開訓練 10:50~11:20

- ・流出した油や浮遊物を油防除船、海面清掃船、多目的作業船などにより除去する等の港湾を啓開する訓練
- ・監督測量船による海底の沈没物探査、設標の訓練

緊急物資の輸送訓練 11:15~11:35

- ・食料、医薬品等の緊急物資を各機関が連携して陸路、海路、空路(車両、船舶、ヘリコプター)によって、緊急輸送する訓練

堤防・道路の応急復旧訓練 10:43~11:10

- ・地震、津波により沈下した河川堤防や段差のできた道路の応急復旧として、大型土のうを製作、設置する訓練



炊き出し訓練 11:00~11:40

- ・婦人会、奉仕団、自治体職員等による避難所を想定した炊き出し訓練を実施

ライフラインの復旧訓練 11:30~11:45

- ・特設公衆電話の仮設、移動基地局を設置する訓練、電線の復旧訓練、移動電源車による電力を供給する訓練

現地対策拠点設営訓練 11:33~11:50

- ・災害対策車輦(災害対策本部車、衛星通信車、照明車など)の搬入、テントの設置等によって、現地対策拠点を設営する訓練

閉会式

挨拶

挨拶：国土交通省四国地方整備局長